

2025 年4 月

JETRO

テキサス州 ビジネスの魅力ガイド

State of Texas

The Texas State Capitol, Austin, Texas

ドーム型議事堂では高さ全米1位、「Everything is Bigger in Texas」の象徴、
州議会議事堂、テキサス州オースティン

目次

Table of Contents

はじめに	3
全米ランキング	4
基本情報	5
経済	
概況	7
主要産業	9
企業	15
投資インセンティブ	16
高等教育／特許	17
スタートアップ	19
ライフスタイル	21

【免責事項】

当レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ヒューストン事務所が米国調査会社Washington CORE, LLCの協力を得て制作しました。原則2025年4月時点で入手した情報に基づきますが、一部統計等2024年末までに判明した情報を加えています。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、当レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

はじめに

Preface

テキサス州の魅力

テキサス州は人口増加率で全米をリードし続けており、仮に一国としてみた場合、世界第8位（第7位フランス、第9位イタリア）の経済大国である。ビジネス寄りの政策や低い法人税と所得税、安いエネルギー料金、生活コストなどにより、国内外の企業にとって魅力的な進出先となっている。

優れた労働力と貿易を支える強固なインフラを持つテキサス州は、最も投資競争力のある州の一つであり続けている。州の産業構造は、従来の基幹産業から新興・ハイテク分野に多様化するなど大きく進化し、「メイド・イン・テキサス」ブランドを確固たるものにしている。こうした優位性は民間セクターから高く評価され、雇用創出と設備投資で全米トップの州に与えられる「ガバナーズ・カップ（Governor's Cup）」を13年連続で受賞している。また、フォーチュン500にランクインしている企業52社が州内に本社を置いている。先進製造業や航空宇宙・航空・防衛、エネルギー、バイオテクノロジー・ライフサイエンス、情報技術がテキサス州経済の柱である一方、半導体やレアアース・鉱物採掘、石油精製・化学製品、プロフェッショナル・コーポレートサービス、食品・畜産物、輸送・物流、クリエイティブ産業も発展している。

テキサス州は現在、半導体輸出で第1位の州であり、PwC（大手コンサルティング会社）の航空宇宙製造業魅力度ランキングでも第1位を獲得。エネルギー部門では石油、ガス、風力、太陽光発電で圧倒的な強さを誇っている。特定セクターの企業群が集積する新興エコシステムが州内に複数形成されているほか、テキサス大学オースティン校（University of Texas at Austin）やテキサスA&M大学（Texas A&M University）などの最先端研究機関、ハイテク産業への官民による多額の投資により、テキサス州は経済的リーダーシップを維持し、世界規模でイノベーションを推進する位置にある。



全米ランキング

Top Rankings in the United States

テキサス州は、さまざまな経済・社会指標ランキングで頻繁に上位につける米国南部最大の経済圏である。

1位 州のビジネス環境
(Site Selection 2024)

1位 ビジネスに最適な州
(Chief Executive 2024)

1位 ビジネス環境
(Business Facilities 2024)

1位 外国貿易特区
(Site Selection 2024)

1位 スタートアップに最適な州
(Swoop Funding 2025)



13年連続 「ガバナーズ・カップ」受賞
(Site Selection 2025)

11年連続 「ゴールド・シャベル賞」受賞
(Area Development Magazine 2024)



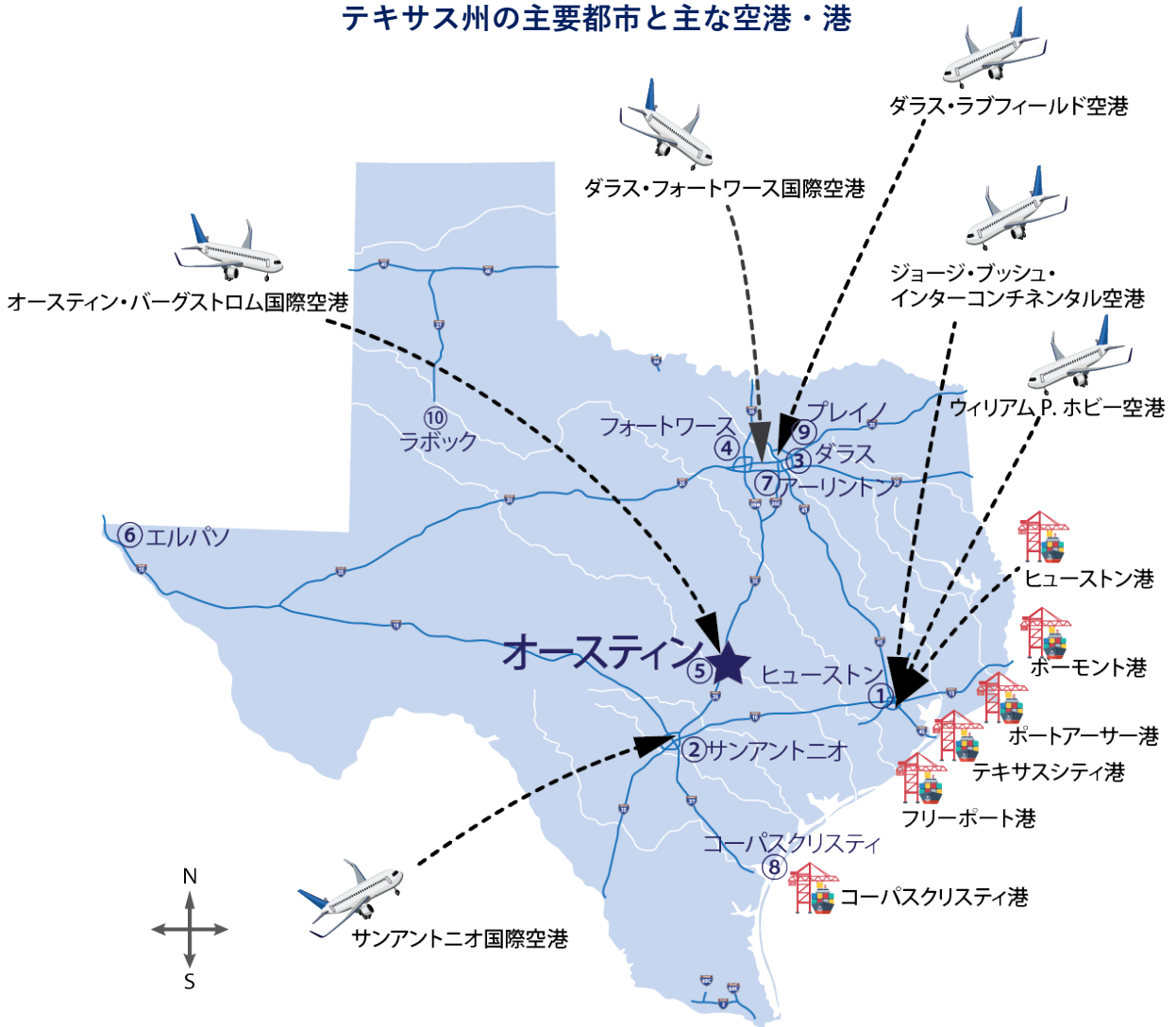
基本情報

Basic Information

テキサス州（州都：オースティン）は米国南部に位置し、メキシコとの国境に接する。カリフォルニア州に続き全米第2位の人口は増加を続けており、同州の経済成長の原動力にもなっている。



テキサス州の主要都市と主な空港・港



凡例



州内で旅客利用数が多い空港

州内で取扱量の大きい港湾

①～⑩ テキサス州人口ランキング上位10都市（米国国勢調査局：2025年）

テキサス州人口（単位：人）

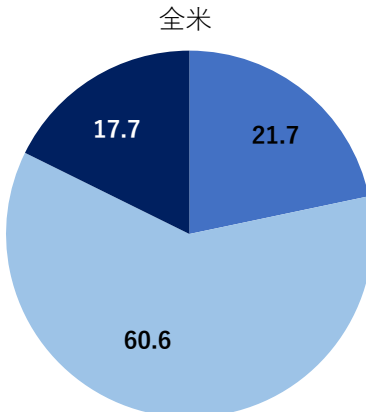
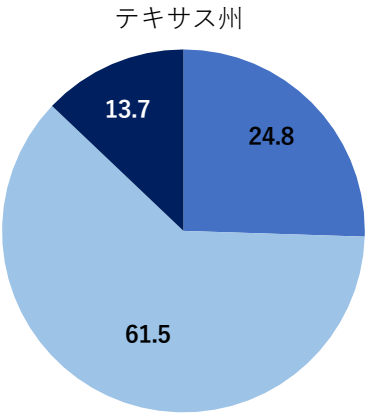
人口	テキサス州	米国全体
2020年	29,149,458	331,515,736
2024年	31,290,831	340,110,988
人口増減率（％）	7.3	2.6

米 国 国 勢 調 査 局
2020年4月1日時点、
2024年7月1日時点
の推計。以下データ
は同局

テキサス州と全米の人種構成（単位：％、2023年）

人種	テキサス州	米国全体
白人	76.8	75.3
黒人（アフリカ系アメリカ人）	13.6	13.7
アメリカ先住民とアラスカ先住民	1.1	1.3
アジア人	6.0	6.4
ハワイ先住民とその他太平洋諸島の住民	0.2	0.3
2種類以上の人種	2.3	3.1
ヒスパニック（ラテンアメリカ人）	39.8	19.5
白人（ヒスパニック（ラテンアメリカ人）以外）	39.6	58.4

テキサス州と全米の人口に占める年齢別内訳（単位：％、2023年）



- 年齢18歳未満
- 年齢18歳以上65歳未満
- 年齢65歳以上

テキサス州と全米の25歳以上に占める高卒・大卒率（調査期間：2019～23年）

	テキサス州	米国
25歳以上の高卒率	85.7％	89.4％
25歳以上の大卒率	33.1％	35.0％

テキサス州 知事、連邦議員

- 州知事：グレッグ・アボット（Greg Abbott：共和党）。2014年の州知事選挙で初当選し、2015年に就任。その後、2018年に再選され、2022年11月8日の一般選挙でも勝利し、現在3期目。現在の任期は2027年1月19日迄。テキサス州知事には再選の回数制限は無い。
- 連邦上院議員：ジョン・コーニン（John Cornyn 共和党）、テッド・クルーズ（Ted Cruz 共和党）
- 連邦下院議員：定数38。共和党25議席、民主党12議席、空席1議席（2025年3月民主党議員が逝去したことによるもの。11月4日に特別選挙実施予定） ※2022年11月中間選挙で定数38に増加

日本－テキサス州関係

- 在ヒューストン日本国総領事館管轄
在ダラス日本国名誉領事 七条 恒（Hisashi Shichijo）
- アメリカ州政府協会在日事務所：テキサス日本事務所 渡邊 博之 代表
- 在留邦人数 約1万4,000人（2023年10月現在 総領事館資料）
- 姉妹都市：愛知県-テキサス州、宮城県仙台市-ダラス市、宮城県登米市-サウスレイク市、群馬県みなかみ町-ハンツビル市、千葉県千葉市-ヒューストン市、千葉県八千代市-タイラー市、東京都武蔵野市-ラボック市、神奈川県横須賀市-コーパスクリスティ市、神奈川県秦野市-バサデナ市、新潟県新潟市-ガルベストーン市、新潟県長岡市-フォートワース市、熊本県熊本市-サンアントニオ市、大分県大分市-オースティン市、大分県別府市-ボーモント市、宮崎県えびの市-ベルトン市、鹿児島県奄美市-ナカドゥチェス市

経済一概況

Economy

テキサス州の経済成長（2024年）

GDP	テキサス州	米国全体
実質GDP（百万ドル）	2,172,369	23,305,023
GDP成長率（%）	3.6	2.8

2017年を基準とした実質GDP（百万ドル）
データ：米国商務省経済分析局

9.3%

全米実質GDPに占めるテキサス州の割合

テキサス州の輸出入額（2024年）

輸出入額	テキサス州 （百万ドル）	米国全体 （百万ドル）
輸出額	455,031	2,064,517
輸入額	397,175	3,267,389

データ：米国商務省国際貿易局

22.0%

全米輸出額に占めるテキサス州の割合

テキサス州の世帯数と所得（調査期間：2019～23年）

世帯・所得データ	テキサス州	米国全体
世帯数	10,747,240	127,482,865
平均世帯人数	2.70	2.54
世帯所得（中央値、ドル）	76,292	78,538
貧困率（%）	13.7	11.1

データ：米国国勢調査局

テキサス州の労働人口・失業者数

労働データ	2020年10月		2024年10月	
	テキサス州	米国全体	テキサス州	米国全体
労働人口（人）	14,084,005	160,867,000	15,497,029	168,479,000
失業者数（人）	968,165	11,061,000	638,373	6,984,000
労働人口に占める失業者の割合（%）	6.9	6.9	4.1	4.1

データ：米国労働統計局





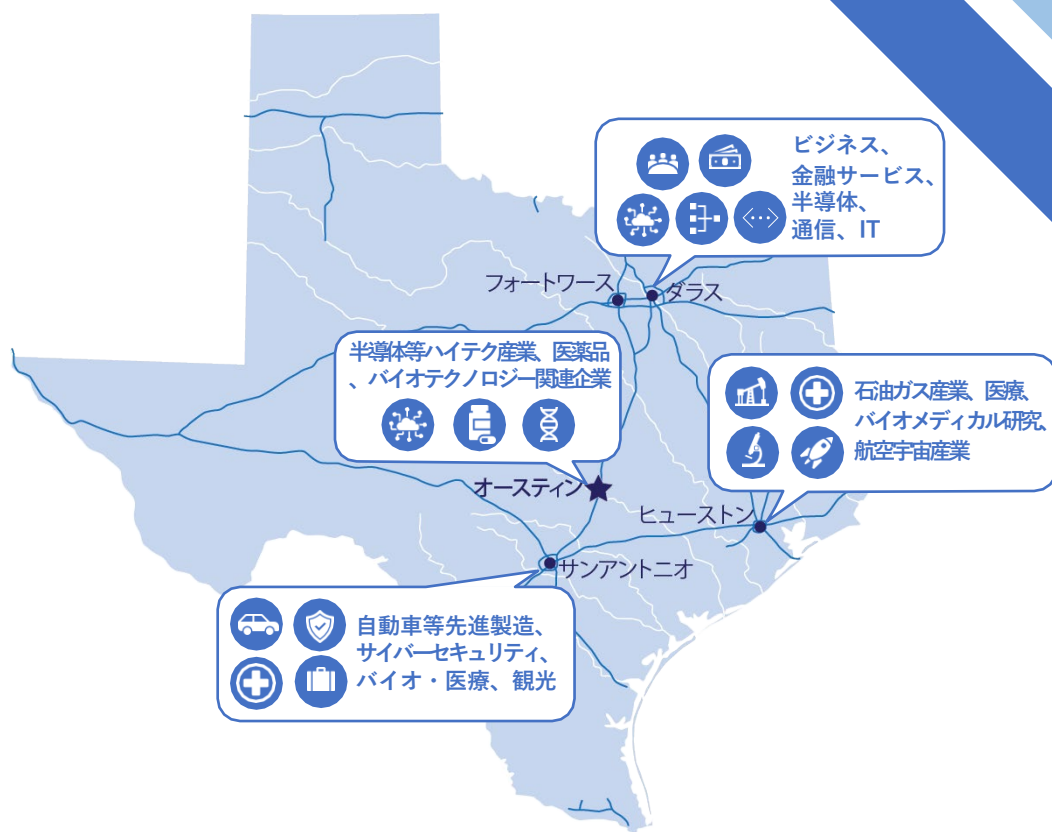
テキサス州の職業別雇用数・平均賃金（2024年5月）

職業	雇用者数（人）		平均年間賃金（ドル）	
	テキサス州	米国全体	テキサス州	米国全体
全体	13,846,880	154,187,380	63,660	67,920
マネジメント	1,204,540	10,966,830	133,180	141,760
ビジネス・財務	859,590	10,351,440	86,050	93,680
コンピュータ・数理	496,000	5,192,890	110,420	116,810
建築・エンジニアリング	235,220	2,567,210	102,180	103,980
自然科学、社会科学	108,360	1,446,770	81,260	89,690
コミュニティ/社会サービス	152,470	2,569,630	58,180	63,030
法務	96,460	1,273,410	121,730	137,680
教育、訓練、司書	827,110	8,947,710	60,370	65,900
アート、デザイン、エンターテインメント、スポーツ、メディア	146,630	2,098,690	61,870	77,040
医療・看護・技師	777,490	9,592,690	97,480	105,220
医療補助	581,980	7,448,010	33,000	39,650
保安警備	313,770	3,654,910	56,530	61,000
飲食業	1,277,790	13,613,490	31,040	36,020
土地建物清掃メンテ	352,180	4,496,150	34,280	39,540
パーソナルケアとサービス	217,950	3,159,940	34,530	39,410
販売・営業	1,200,320	13,351,680	50,320	54,070
事務/管理補助	1,738,470	18,218,070	47,040	50,160
農業、漁業、林業	15,530	442,050	38,340	41,730
建設・採掘	657,790	6,361,720	53,690	63,920
設置、保守、修理	626,680	6,045,020	58,300	61,640
生産	683,690	8,743,450	48,490	50,090
運輸・運搬	1,276,870	13,645,620	47,020	48,750

データ：米国労働統計局

経済—主要産業

Major Industries



テキサス州の総生産は2.6兆ドルで、米国でカリフォルニア州に次ぐ経済規模を誇る。国に例えると経済規模はイタリアやカナダを上回る世界8位に相当するとされる。州内にはフォーチュン500の52社が本社を構え、多国籍企業から中小までの大小さまざまな企業と、約1,500万人の労働力がある。

地域別の大まかな特徴をみると、ヒューストン (Houston) は、「世界のエネルギー首都 (Energy Capital of the World)」としての地位を確立している。石油・ガス産業を中心にエネルギー分野で世界をリードしており、医療・バイオメディカル研究や航空宇宙産業も発展している。特にテキサス・メディカル・センター (Texas Medical Center) は、世界最大級の医療・生命科学複合施設として知られ、先端医療技術の開発と研究において中心的な役割を担っている。

オースティン (Austin) は「シリコンヒルズ (Silicon Hills)」とも称されるハイテク産業の拠点であり、近年では製薬やバイオテクノロジー企業も集積している。アップル (Apple)、グーグル (Google)、デル・テクノロジーズ (Dell Technologies)、テスラ (Tesla) などの大手テクノロジー企業が拠点を構え、スタートアップや技術革新を促進している。州都として行政や教育機関も集まり、研究開発における産学連携が盛んである。

ダラス・フォートワース (Dallas-Fort Worth) 地域は、ビジネスと金融サービス業の中心地であり、電子機器、コンピュータ、通信業界などのIT関連企業が多く集積している。半導体分野ではテキサス・インスツルメンツ (Texas Instruments) が本社を構え、最先端の技術革新を推進している。また、自動車産業では北米トヨタ (Toyota North America) の本社があり、製造および物流のハブとしても機能している。

サンアントニオ (San Antonio) は、サイバーセキュリティ、金融サービス、ライフサイエンス、先進製造業および航空宇宙製造分野のリーダーである。研究開発、高等教育、米国国防総省との連携により、活発なエコシステムが形成されている。経済は多様で不況にも強く、米軍との連携を通じて商業を発展させてきた実績を持つ。近年はエネルギー効率と再生可能エネルギーの向上に注力しており、CPSエネルギー (CPS Energy) と協力してグリーンソリューションを推進している。

これらの都市は、それぞれ異なる強みを発揮し、テキサス州全体の経済成長と技術革新を支えている。

経済－主要産業

Major Industries



テキサス州旗



先進製造業



航空宇宙・
航空・防衛



バイオテクノロジー・
ライフサイエンス



クリエイティブ産業



エネルギー



食品・畜産品



ホスピタリティ・
観光・文化産業



情報産業



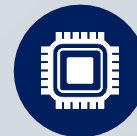
石油精製・化学製品



プロフェッショナル・
コーポレートサービス



リース・
鉱物採掘



半導体



輸送・物流

テキサス州を代表する主要産業には、①先進製造業、②航空宇宙・航空・防衛、③バイオテクノロジー・ライフサイエンス、④クリエイティブ産業、⑤エネルギー、⑥食品・畜産品、⑦ホスピタリティ・観光・文化産業、⑧情報産業、⑨石油精製・化学製品、⑩プロフェッショナル・コーポレートサービス、⑪リース・鉱物採掘、⑫半導体、⑬輸送・物流などがある。

なお、主要産業の記載に当たっては、テキサス州経済開発・観光局（Texas Economic Development & Tourism Office）のウェブサイトを参考に作成した。既に高い競争力を有する産業の他、今後の成長を見込む産業も含まれている。

経済－主要産業

Major Industries



先進製造業

Advanced Manufacturing

テキサス州の先進製造業は、さまざまな分野においてイノベーションや自動化、最先端テクノロジーを活用し、同州の経済成長の原動力となっている。この分野は主に、①航空宇宙車両・航空機・防衛、②自動車、③コンピュータ・エレクトロニクス・半導体、④生産技術・重機の4つの主要部門に分類される。この分野は過去10年間で13%成長しており、2021年には州のGDPに640億ドル寄与した。テキサス州の強固なサプライチェーンと製造業の集積は、複雑かつ技術力が必要な製造業への投資とイノベーションを惹きつけ続けている。

主要部門の中でも、航空宇宙・防衛分野が特に堅調な伸びを示している。州内にはロッキード・マーチン（Lockheed Martin）、テキストロン（Textron）、プラット・アンド・ホイットニー（Pratt & Whitney）、スペースX（SpaceX）のスターベース（Starbase）の生産施設があり、航空機や宇宙船、防衛関連機器を製造している。自動車分野は、トヨタやテスラ（Tesla）、ゼネラルモーターズ（General Motors）、ピータービルト（Peterbilt）らによって電気自動車と自律走行車製造のリーダーに台頭してきている。

コンピュータ・エレクトロニクス・半導体部門ではサムスン（Samsung）、テキサス・インスツルメンツ（Texas Instruments）、NXP、デル・テクノロジーズ（Dell Technologies）などの企業が事業を拡大している。生産技術・重機分野では、キャタピラー（Caterpillar）やジョンディア（John Deere）、コマツ、パーカー・ハネフィン（Parker Hannifin）などの大手企業が、建設から農業までの幅広い産業を支えている。



クリエイティブ産業

Creative Industry

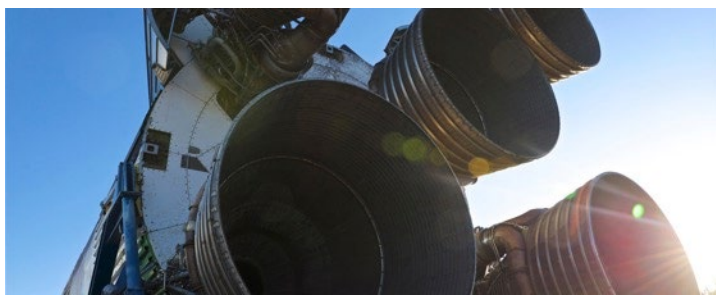
テキサス州は映画・テレビ制作において50年以上の歴史があり、クリエイティブ産業のハブであり続けている。テキサスを拠点とする制作会社は250社を超え、米国内外の映画制作者を惹きつけるメディア制作コミュニティの成長と充実したリソース・ネットワークがある。州内の約90万人が芸術や文化産業に従事しており、クリエイティブ産業は州経済に貢献しているだけでなく、人々の文化面での生活をより豊かにしている。音楽産業の関連部門は、何千もの雇用、何十億ドルもの収益、何百万ドルもの税収を州にもたらし、2020年だけでも州経済に108億ドル寄与している。



航空宇宙・航空・防衛

Aerospace, Aviation & Defense

テキサス州の航空宇宙・航空・防衛部門は、15万4,000人以上の雇用と2,000以上の事業所を擁する。PwCの2024年航空宇宙製造業魅力度ランキングで第1位を獲得しており、そのビジネス・フレンドリーな風土や熟練労働力、強固なインフラなどの魅力を裏付けた。州内には、米航空宇宙局（NASA）のジョンソン宇宙センター（Johnson Space Center）、陸軍将来コマンド（Army Futures Command）、15の軍基地があり、2023年には州経済に合わせて1,512億ドル寄与した。また、航空宇宙製品および部品製造企業数でも全米で第3位にランクされている。ダラス・フォートワース（Dallas-Fort Worth）地域は州最大の航空宇宙製造の労働力を擁している。



バイオテクノロジー・ ライフサイエンス

Biotechnology/Life Science

テキサス州のバイオテクノロジー・ライフサイエンスは急成長産業で、2021年には州のGDPに1,130億ドル寄与し、2011年から2021年までに62%成長した。州内にはバイオテクノロジー・医薬品・医療機器と、農業科学技術を支える世界的に有名な研究機関や医療施設、強固なサプライチェーンがある。このセクターには84万人が雇用され、全米のライフサイエンス産業の労働者の8%を占め、2021年には340億ドルの関連製品を輸出した。

ヒューストン（Houston）にあるテキサス医療センター（Texas Medical Center: TMC）は世界最大の医療集積拠点で、MDアンダーソンがんセンター（MD Anderson Cancer Center）などトップクラスの医療機関・研究機関が集まっており、2004年以来1万7,000件を超える臨床試験が実施されている。

農業科学技術では、テキサスA&M大学（Texas A&M University）の最先端研究や新興のアグリテック企業など、農業イノベーションでリーダーシップを発揮している。

経済—主要産業

Major Industries



エネルギー

Energy

テキサス州のエネルギー部門は経済活動の中心で、州のGDPに3,900億ドル寄与し、2021年時点で81万9,000人を雇用している。石油、ガス、風力、および大規模の太陽光によるエネルギー生産で米国をリードしており、発電電、石油・ガス採掘・生産・輸送、再生可能エネルギーを中心とした事業を展開している。テキサス州は、米国エネルギー部門のGDPの22%、エネルギー輸出の42%を占め、58万6,690マイル（約94万4,000km）の石油・ガスパイプライン、1万7,000マイル（約2万7,000km）の天然ガスパイプライン、複数のエネルギー研究拠点、競争促進を目的とした柔軟な電力市場など豊富なインフラを有している。石油・ガス産業では、パーミアン・ベイスン（Permian Basin）とイーグルフォード・シェール（Eagle Ford Shale）という世界最大級の油田・ガス田を有し、依然として全米トップの生産量を誇っている。テキサスを国とすると、石油生産量は世界第5位、天然ガス生産量は世界第3位となる。

また同州は、オンコー（Oncor）、AEP、センターポイント（CenterPoint）などの大手供給業者による州独自の電力システムを有し、州全体の電力需要の90%を自給している。テキサスA&M大学（Texas A&M University）やテキサス大学オースティン校（University of Texas at Austin）のような大学がスマートグリッドや再生可能エネルギープロジェクトを主導するエネルギー研究と技術革新の中心地でもある。



食品・畜産品

Food & Livestock Products

テキサス州の食品・畜産品産業は2021年のGDPに2,280億ドル寄与し、全米の部門GDPの7%を占め、2011年から2021年にかけて34%の成長を遂げている。この産業は食品加工と畜産加工の2つの主要部門で構成されている。同州は畜産加工で全米をリードしており、畜牛数は米国最多で、牛肉と鶏肉生産の重要な州となっている。同州の海外輸出額は580億ドルで、食品生産における国内外のリーダーとしての役割は強まっている。

食品加工部門には、穀物製粉や乳製品製造、様々な食品製造・包装業などを含む42業種がある。同州の豊かな農産業と供給網を背景に、H-E-Bやフリトレイ（Frito-Lay）など地元の食品企業が成長を遂げてきた。コカ・コーラ（Coca-Cola）やクラフト・ハインツ（Kraft Heinz）などの州外の大手食品関連企業もテキサス州に投資している。このセクターは、高圧加工、食品3D印刷、無菌包装などの最先端技術を取り入れ、効率を向上させつつ製品の消費期限を延ばしている。ジョン・ソウルズ・フーズ（John Soules Foods）、ローンスター・ビーフ・プロセッサーズ（Lone Star Beef Processors）、シスコ（Sysco）などの企業がある畜産加工部門は、2011年から2021年にかけて海外輸出が68%増加した。



ホスピタリティ・観光・文化産業

Hospitality, Tourism & Culture

ホスピタリティ・観光・文化産業は、2021年の州のGDPに780億ドルをもたらして米国の部門GDPの6%を占め、2011年から2021年にかけて12%の成長を遂げた。雇用は同期間に26%増加し、2032年までにさらに20%増加すると予想されている。テキサス州の多様な地理、ユニークなロケーション、世界的なブランドがこれに貢献している。ビッグ・ベンド国立公園（Big Bend National Park）、アラモ（Alamo）、リバー・ウォーク（River Walk）など、有名な観光地があるほか、テキサス・ステート・フェア（Texas State Fair）、ヒューストンのロデオ（Houston Rodeo）、サンアントニオのフィエスタ（Fiesta San Antonio）などは年々集客数を増やしている。

映画・音楽・文化部門は隆盛を続けており、オースティン（Austin）は大規模イベント「サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）」などによってライブ・ミュージックの中心地として認知されている。また、州は映画制作の誘致を増やすためにインセンティブとして2023年に2億ドルを投じている。

経済—主要産業

Major Industries



情報産業

Information Technology

テキサス州の情報技術産業は急成長しており、2021年の州のGDPに710億ドル寄与し、2011年から2021年までの成長率は87%。2022年から2032年までの成長率は67%と予測されている。同産業の米国全体の労働力の7%にあたる約49万5,000人のIT専門家が雇用されており、ソフトウェア設計・開発、コンピュータ・プログラミング、データ処理、サイバーセキュリティに大きな強みを持つ。「シリコンヒルズ（Silicon Hills）」と呼ばれオースティンや「シリコンプレーリー（Silicon Prairie）」と呼ばれるダラス・フォートワース（Dallas-Fort Worth）地域は、アルファベット（Alphabet）やエヌビディア（NVIDIA）の大規模投資の誘致が引き金となり、新興企業のエコシステムも拡大している。サンアントニオ（San Antonio）は、米空軍の情報戦基地や国家安全保障局の暗号センターを擁し、ワシントンDCに次ぐ国家サイバーセキュリティのハブとして台頭している。テキサス大学オースティン校（University of Texas at Austin）などの高等教育機関は、「生成AIセンター（Center for Generative AI）」のような大規模な取り組みでイノベーションを推進し続け、州を機械学習や自動化、自然言語処理などの新興技術の最前線に位置付けている。

また、テキサス州内では近年、人工知能（AI）の普及などによる需要拡大に伴うデータセンターへの投資が相次ぎ、特にグーグル（Google）やメタ（Meta Platforms）などによる集積が進むダラス・フォートワース地区は「北米第2位のデータセンターマーケット」とされている。州内の関連直接雇用は2024年第2四半期に全米の1割にあたる4万8,000人近くに達し、2018年から38%の増加となったという。また、州は10万平方フィート（約9,290平方メートル）以上、投資額2億ドル以上の大規模データセンターの新設に対して売上税の大部分を免除する州法も設け、投資を後押ししている。今後もマイクロソフト（Microsoft）がサンアントニオ（San Antonio）の施設拡張に15億ドルを投資するほか、OpenAI、オラクル（Oracle）、ソフトバンクグループによる「スターゲート（Stargate）・プロジェクト」も州内に大規模データセンターを設置する予定となっている。



石油精製・化学製品

Petroleum Refining & Chemical Products

テキサス州の石油精製・化学産業は、2021年のGDPに680億ドル寄与し、米国の部門GDPの24%を占める。工業用化学製品、石油精製、プラスチックの3つの主要部門で構成され、テキサス州の豊富な天然資源、強力なインフラ、熟練労働力を活用している。石油精製部門は、エクソンモービル（ExxonMobil）、バレロ（Valero）、シェブロン（Chevron）などの大手を含む27の製油所を擁し、原油処理能力は1日当たり約590万バレルで全米最大となっている。

工業化学製品は主要輸出部門で、2021年の対外輸出額は130億ドル。2022年から2032年にかけてのGDP増加は25%と予測されており、航空宇宙や農業、製造業向けの主要素材を供給している。一方、テキサス州の原材料へのアクセスと強固なサプライチェーンに支えられたプラスチック部門は、2011年から2021年の間に51%の輸出増加を記録。ベイタウン（Baytown）にあるエクソンモービルの高度プラスチックリサイクル施設など、リサイクルの技術革新への大規模な投資が行われている。



プロフェッショナル・コーポレートサービス

Professional & Corporate Services

プロフェッショナル・コーポレートサービス産業は、2021年に3,320億ドルのGDPを生み出して米国の部門GDPの8%を占め、2011年から2021年にかけて65%成長した。テキサス州にはフォーチュン500に入る企業52社が本社を置いており、低い税負担、熟練した労働力、競争力のあるビジネス環境でグローバル企業を惹きつけている。金融サービス産業も大きく成長し、連邦準備制度理事会の第11連邦準備区を管轄する地区連銀が置かれているダラス（Dallas）にはチャールズ・シュワブ（Charles Schwab）、モルガン・スタンレー（Morgan Stanley）、ウェルズ・ファargo（Wells Fargo）、フィデリティ・インベストメンツ（Fidelity Investments）などの大手金融機関がある。ビジネス寄りの規制環境、グローバル市場へのアクセス、強力な労働力開発イニシアチブにより、テキサス州は企業本社、ビジネスサービス、金融機関にとって最高の立地であり続けている。

経済－主要産業

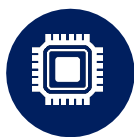
Major Industries



レアアース・鉱物採掘

Rare Earth Elements & Mineral Mining

テキサス州のレアアース類及び鉱物採掘産業は、重要素材の国内サプライチェーンにおいて重要な位置づけにある。2021年のGDPに250億ドル寄与して米国の部門GDPの32%を占め、2011年から2021年にかけて14%の成長を遂げている。金属鉱業と非金属鉱業の主要部門があり、どちらもテクノロジーや防衛、建設、石油採掘などの産業に不可欠である。テキサス州には、特にリオグランデ（Rio Grande）川上流とメキシコ湾岸地域にレアアース類や銅、ニッケル、ウラン、その他の重要鉱物が大量に埋蔵されている。シエラブランカ（Sierra Blanca）のラウンドトップ（Round Top）鉱床は、スマートフォン製造や軍事技術、再生可能エネルギーなどの用途に不可欠なレアアースの国内採掘の主要拠点である。一方、州西部では、石油・ガス産業を支える砂鉱山が拡大し、移動式砂鉱山のような技術革新によってコストと排出ガスの削減を実現している。



半導体

Semiconductors

テキサス州の2022年の半導体輸出は2,100億ドルで、カリフォルニア州やアリゾナ州、ニューヨーク州を上回り14年連続で首位となっている。州内には15の半導体工場があり、テキサス・インスツルメンツ（Texas Instruments）、サムスン（Samsung）、NXP、X-Fab、タワー・セミコンダクター（Tower Semiconductor）、インフィニオン・テクノロジーズ（Infineon Technologies）を含む強固なエコシステムを形成しており、半導体産業は過去5年間で44%の成長を果たした。テキサス州は米国最大のウェハース製造能力を有し、全米の総生産能力の36%を占めている。労働力開発にも力を入れており、テキサス大学オースティン校（University of Texas at Austin）、テキサスA&M大学（Texas A&M University）、ライス大学（Rice University）などのトップクラスの研究機関に支えられ、4万7,000人が半導体産業に従事している。2023年に制定されたテキサスCHIPS法（Texas CHIPS Act）によって、テキサス半導体イノベーション・コンソーシアム（Texas Semiconductor Innovation Consortium）とイノベーション基金（Innovation Fund）が設立され、半導体の研究開発に6億9,800万ドルが割り当てられ、国内生産を促進して海外サプライチェーンへの依存を減らしている。



輸送・物流

Transportation & Logistics

輸送・物流産業は2021年の州のGDPに3,030億ドル寄与し、米国の部門GDPの10%を占め、2011年から2021年にかけて34%の成長を遂げている。流通・電子商取引と運輸・航空サービスの2つの部門に分けられ、いずれもテキサスの位置や広範なインフラ、世界市場へのアクセスの良さが生かされている。州内には、全米最大の港であるラレド港（Port Laredo）があるほか、広大な高速道路網、6つの大規模国際空港、アメリカン航空（American Airlines）とサウスウエスト航空（Southwest Airlines）の本社がある。アマゾン（Amazon）、ウォルマート（Walmart）、TJXなどの企業に支えられている流通・電子商取引部門は、流通・フルフィルメントセンターの自動化への大規模な投資により、急速に拡大している。一方、運輸・航空サービス部門には、6万6,000社を超えるトラック運送会社、主要な鉄道・高速道路網、イノベーション・ハブが含まれる。



経済一企業

Major Companies

テキサス州の事業所数、マイノリティ所有事業所数、退役軍人所有事業所数（2022年）

事業所の種類	総数
事業所	459,814
マイノリティ所有事業所	153,534（事業所数比33.4%）
退役軍人所有事業所	23,458（事業所数比5.1%）

データ：米国国勢調査局

テキサス州に本社を置く Fortune 500 企業 上位10社（2024年）

順位	企業名	本社	業種	売上* （億ドル）
7	エクソンモービル（ExxonMobil）	スプリング（Spring）	石油・天然ガス開発	3,445.8
9	マッケソン（McKesson）	アーヴィング（Irving）	医薬品卸売・ヘルスケア	2,767.1
26	フィリップス66（Phillips66）	ヒューストン（Houston）	石油・ガス精製	1,498.9
29	バレロ・エナジー（Valero Energy）	サンアントニオ（San Antonio）	石油・ガス精製	1,390.0
32	AT&T	ダラス（Dallas）	情報通信	1,224.3
40	テスラ（Tesla）	オースティン（Austin）	自動車および部品	967.7
48	デル・テクノロジーズ（Dell Technologies）	ラウンドロック（Round Rock）	テクノロジー製品の開発・販売	884.3
51	エネルギー・トランスファー（Energy Transfer）	ダラス（Dallas）	原油パイプライン運営	785.9
54	シスコ（Sysco）	ヒューストン（Houston）	食料品卸売	763.3
59	キャタピラー（Caterpillar）	アーヴィング（Irving）	建設・農業機械	670.6

*注：売上は前会計年度（Last Fiscal Year）の数値
出典：Fortune発表を基に作成

テキサス州に拠点を置くクリーン・エネルギー分野のスタートアップ企業の例

企業名	従業員数	主な業務	業界
Crusoe Energy	51-200	余剰天然ガスなどを利用した発電や、人工知能（AI）向けデータセンター・クラウドサービスを提供。	クリーンテクノロジー、ブロックチェーン、HPC、エネルギー
Avathon	201-500	エネルギー・物流・製造・小売り・国防などの産業において、AIを用いたソリューションを提供。	AI/ML、軍事、防衛、製造、物流
ChargePoint	501-1000	商業用施設・運送車両・住宅向けの電気自動車充電機やソフトウェアを提供。	クリーンテクノロジー、EV、IoT、スマートシティ
Octopus Energy	51-200	100%再生エネルギーによる電力を供給。AIや機械学習（ML）を活用したクラウドのエネルギー管理や、電気自動車充電器などのスマートエネルギーのハードウェアを提供。	クリーンエネルギー、EV、テクノロジー
Ramanujan Inc.	11-50	エネルギー管理のAPIプラットフォームを提供。エネルギー効率と管理に特化。	エネルギー効率、AI/ML、エネルギー管理
Oncore Solar	11-50	住宅向け太陽光発電システムを提供。	ソーラーエネルギー、住宅・商業用ソーラー

出典：各社ウェブサイトを基に作成

投資インセンティブ

Investment Incentives

テキサス州には、同州の雇用やイノベーションの促進に貢献する企業に対して、州政府や地方自治体が提供する競争力の高い投資インセンティブが豊富にある。以下は、テキサス州経済開発・観光局（Texas Economic Development & Tourism Office）を通じて提供される主なインセンティブの例である。

テキサス州政府の主な投資インセンティブ（2025年3月時点）

インセンティブ	概要
テキサス・エンタープライズ基金 (Texas Enterprise Fund)	テキサス州への新規進出プロジェクトで、同州内の施設が州外の施設と競合している場合、ディール・クロージング・ファンド（deal-closing fund）として助成される基金。大きな雇用創出と資本投資が見込まれることと、投資先の拠点が未決定であることが条件。助成額は実績に基づいて決定される。
イベント信託基金 (Events Trust Funds)	テキサス州へ各種イベントを誘致することを目的とした基金。郡や地方自治体と、承認を受けた地元の非営利団体がイベントを開催するのに必要な費用を支援する。イベント開催により得られる売上・使用税や酒税などの税収を基金の財源としている。
州知事大学研究イニシアチブ (Governor's University Research Initiative)	州立高等教育機関が優秀な研究者を採用する際の費用に対し、見合いとして支援。世界最高クラスの研究者をテキサス州に呼び込むことを目的としている。
テキサス・エンタープライズ・ゾーン・プログラム (Texas Enterprise Zone Program)	経済的に困窮している地域での民間投資と雇用創出を促進するために、プロジェクトの投資規模や雇用創出数に基づいて州の売上・利用税を還付する。
テキサス小規模事業クレジットイニシアチブ (Texas Small Business Credit Initiative)	従業員数500名以下の中小企業対象の金融策。特に、伝統的に周縁化される企業や、COVID-19によるパンデミックの影響を受けた企業を重点的に支援する。
テキサス雇用・エネルギー・技術・革新プログラム (Texas Jobs, Energy, Technology & Innovation (JETI))	製造、発電、資源開発、研究開発、ハイテク・インフラなどの分野における施設建設プロジェクトに対し、投資額や見込まれる雇用数によって、学区管理・運営税の評価額を10年間、50%に限定する。特区に所在する場合は、さらに追加で25%の限定措置を受けられる。
テキサス半導体イノベーション基金 (Texas Semiconductor Innovation Fund (TSIF))	州内の高等教育機関や企業の半導体研究・設計・製造プロジェクトを支援する助成金プログラム。。
テキサス小規模事業災害復興ローンプログラム (Texas Micro-Business Disaster Recovery (MBDR) Loan Program)	災害の影響で資金調達が困難となった、従業員数20名以下の小規模企業対象の支援。本プログラムより認定地域金融機関（CDFI）に無利子ローンを提供し、CDFIが対象企業に有利子ローンを供与する。

経済開発組織・商工会議所

地域	経済開発組織	商工会議所
テキサス州 (Texas State)	テキサス州経済開発・観光局（Texas Economic Development & Tourism Office）、テキサス州経済開発公社（Texas Economic Development Corporation）	テキサス州ビジネス協会（Texas Association of Business）
ヒューストン (Houston)	ヒューストン市経済開発部門 (Economic Development - City of Houston)	グレーター・ヒューストン・パートナーシップ（Greater Houston Partnership：GHP）
ダラス (Dallas)	ダラス市経済開発局 (City of Dallas Office of Economic Development)	ダラス地区商工会議所 (Dallas Regional Chamber：DRC)
オースティン (Austin)	オースティン市経済開発部 (City of Austin's Economic Development Department)	オポチュニティ・オースティン (Opportunity Austin)
サンアントニオ (San Antonio)	サンアントニオ市経済開発部（City of San Antonio Economic Development Department）、 テキサス・サンアントニオ地域開発連合 (greater:SATX Regional Economic Partnership)	サンアントニオ商工会議所 (San Antonio Chamber of Commerce)

出典：各組織のウェブサイト

高等教育／特許

Higher Education / Patent

主要大学

テキサス州には多数の大学がある。U.S.News & World Reportの2025年大学ランキングにおいて、テキサス州で上位10校に入った大学は次のとおり。

大学	順位
ライス大学 (Rice University, ヒューストン Houston)	18位
テキサス大学オースティン校 (University of Texas at Austin, オースティン Austin)	30位
テキサスA&M大学 (Texas A&M University, カレッジステーション College Station)	51位
ベイラー大学 (Baylor University, ウェーコ Waco)	91位
南メソジスト大学 (Southern Methodist University, ダラス Dallas)	91位
テキサス・クリスチャン大学 (Texas Christian University, フォートワース Fort Worth)	105位
テキサス大学ダラス校 (University of Texas at Dallas, リチャードソン Richardson)	109位
ヒューストン大学 (University of Houston, ヒューストン Houston)	144位
セントトーマス大学ヒューストン校 (University of St. Thomas, ヒューストン Houston)	209位
テキサス工科大学 (Texas Tech University, ラボック Lubbock)	214位

出典：U.S.News & World Report 2025を基に作成

ライス大学

ライス大学は、1912年に設立された私立大学であり、ヒューストン市中心部にキャンパスを構える。社会科学部、人文科学部、自然科学部などを含む8つの学部より構成されている。大学院は、ジョーンズ・ビジネス・スクール (Jones Graduate School of Business) やジョージ・R・ブラウン・エンジニアリング・スクール (George R. Brown School of Engineering)、建築学科、音楽学科などが著名である。同大ベーカー公共政策研究所 (Baker Institute for Public Policy) は、全国的に知られた公共政策シンクタンク。同大アスレチック・チームであるライスアウルズ (Rice Owls) は、全米大学体育協会 (National Collegiate Athletic Association : NCAA) ディビジョンIに14種類の競技で属しており、特に野球チームは強豪で名が通っている。

テキサス大学オースティン校

テキサス大学オースティン校は、1883年に設立された公立大学で、テキサス大学システム (UT) の旗艦大学。オースティン都市部にキャンパスを構える。全米でも最大規模の同校には、リベラルアーツカレッジをはじめ15の学部がある。また、大学院プログラムの中にはUS News全米ランキングで上位10位以内の学部・学科も多い。ビジネス学部全体では6位、エンジニアリングやコンピュータサイエンスでは10位を取得。学科別には、経理・会計 (1位)、石油工学 (2位)、ファイナンス (3位)、マネジメントやマーケティング (4位)、化学工学 (5位)、環境学／環境衛生学 (6位)、ソフトウェアエンジニアリング学 (7位)、サイバーセキュリティ (8位)、コンピュータ (9位) などがある。



ライス大学



テキサス大学
オースティン校



コミュニティカレッジ

テキサス州には101のコミュニティカレッジがあり、全米でカリフォルニア州に次いで2番目に多い州である。2024年秋季入学者数は70万人を超える。これらのコミュニティカレッジは都市部から農村部まで州全体に広く存在し、職業訓練や大学編入など多様な教育プログラムを提供。高校生向けのデュアルクレジットプログラムも広く利用されている。また、他州と比べて学費が安いところが多いが、留学生は本来、州外出身者の学費が適用となる場合、条件を満たす場合は州内出身者と同じ学費が適用される州法もあり、留学先としての注目も高まってきている。

コミュニティカレッジは地元企業と協力して、将来地元経済に貢献できる人材育成に注力している。テキサスコミュニティカレッジ協会（Texas Association of Community Colleges：TACC）は、州議会と協力して、同州全域に亘るコミュニティカレッジサービス地域での学生教育を向上させる政策の促進に取り組んでいる。

テキサス州におけるコミュニティカレッジと民間企業による提携の例として、アマゾン（Amazon）

は、ダラスカレッジ（Dallas College）と共に、クラウドコンピューティングの準学士号取得のためのプログラムの提供を始めた。このプログラムには、クラウドプラットフォームのサポートと管理に必要なスキルを取得する2つのコースが含まれている。ガルフコーストコミュニティカレッジ（Gulf Coast Community College）では、エクソンモービル（ExxonMobil）からの助成を受けたプログラム「コミュニティカレッジ・パートナーシップ・イン・ワークフォース（Community College Partnership in Workforce：CCPIW）」が行われており、地元企業や産業向けの業界最先端の職業訓練が提供されている。2020年、TACCは、ビジネス諮問委員会（Business Advisory Council：BAC）を設立。BACは、州内のコミュニティカレッジに対し、企業が現在、あるいは、将来直面する労働力ニーズについて助言している。また、必要なスキルと資格取得のため、需要主導型（demand-driven）の効果的な教育および研修についての情報を提供している。

特許数

州別特許取得件数で、テキサス州はカリフォルニア州に次いで第2位につけており、全米を代表するイノベーション創出地域の一つとなっている。テキサス州ダラス市のダウンタウンには、全米4カ所にある米国特許商標庁（United States Patent and Trademark Office：USPTO）の支部の1つ、南西地域アウトリーチオフィス（Southwest Regional Outreach Office、旧テキサス地域オフィス：Texas Regional Office）がある。所管地域はテキサス州のほか、アラバマ州、アーカンソー州、ルイジアナ州、ミシシッピ州、ニューメキシコ州、オクラホマ州、テネシー州。同オフィスは、これらの地域におけるイノベーションを促進し、経済を刺激するため、学生や教員を支援するSTEM教育プログラムの実施、地域の利害関係者からのフィードバックの収集、知的財産に関する一般市民への教育、地域からの多様な人材の採用にも取り組んでいる。

米国特許取得件数州別ランキング （上位10位、2020年1月1日～12月31日）

順位	州	件数
全米計	—	183,147
1位	カリフォルニア州	50,496
2位	テキサス州	13,192
3位	ニューヨーク州	10,540
4位	ワシントン州	9,112
5位	マサチューセッツ州	8,790
6位	ミシガン州	7,478
7位	イリノイ州	6,175
8位	フロリダ州	5,513
9位	オハイオ州	5,386
10位	ニュージャージー州	5,027

データ：米国特許商標庁

スタートアップ

Startups

テキサス州のスタートアップに資金を提供している主なベンチャーキャピタル (Venture Capital : VC) は以下のとおり。

ベンチャー キャピタル (VC)	概要
ATX Venture Partners (オースティン)	シードやシリーズAステージの企業に投資。B2Bソフトウェア、アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API)、アプリケーション、フロンティア技術、マーケットプレイスなどにおける、既存を打破する新興技術を模索する企業に投資する。投資額は25万ドルから500万ドル。
Capital Factory (オースティン)	シードからシリーズBステージまで、米国所在のスタートアップを支援。コワーキングスペース運営も行い、インキュベーターやアクセラレーターとして活動。
Elsewhere Partners (オースティン)	主にITインフラ、サイバーセキュリティ、業務用アプリケーション、医療ITの分野において、アーリーステージのソフトウェア企業に投資する。
LiveOak Venture Partners (オースティン)	テクノロジーおよびテックを活用したサービスの分野における、テキサス州所在の起業家に投資する。主にシードやシリーズAステージに投資し、プレシードやシードBステージでの投資も行う。初期投資額は50万ドルから1,000万ドル。2012年成立。
Multicoin Capital (オースティン)	暗号資産やヘッジファンドの管理のほか、非公開・公開市場における仮想通貨、トークン、ブロックチェーン企業などに対し、シードステージから複数の成長段階にわたる投資を行う。分野は、コンピュータサイエンスやテックの垣根を超えた技術や、インフラ、消費者や大手企業向けアプリケーションなど。2017年設立。
Quake Capital Partners (オースティン)	プレシード・シードステージに投資する。投資分野は、企業向け営業モデル、既存を打破する新興技術、人工知能／機械学習 (AI/ML)、コンピュータビジョンなど。投資額は15万ドルから20万ドル。主に北米の企業に投資するが、約15%は海外に投資。
S3 Ventures (オースティン)	ビジネステクノロジー、デジタル体験、ヘルスケアテクノロジーの分野で、シードからシリーズBステージまで投資する。投資額は50万ドルから1,000万ドル以上。2005年設立。
Sante Ventures (オースティン)	主にバイオテクノロジー、医療・健康技術分野のヘルスケア企業を支援。2006年設立。
Scout Ventures (オースティン)	防衛分野での技術開発の経験をもとに、軍事、情報、国立研究所出身の創業者による先端技術開発に投資する。シードステージからシリーズBまで継続的に投資。AI/ML、量子コンピューティング、ロボティクス、先端材料科学、セキュリティ、宇宙・航空宇宙、先端エネルギーなどの業界に注力。投資額は200万ドルから500万ドル。
Silverton Partners (オースティン)	シードやシリーズAステージでの資金調達を主に行い、アーリーステージのスタートアップに投資。リクルーティングや戦略のサポート、他の起業家や投資家、メンター、ビジネスパートナーとのネットワーキングを提供。2006年設立。
True Wealth Ventures (オースティン)	女性主導の企業で、健康と環境衛生の分野を対象に、シードステージで投資する。投資額は最大100万ドル。
Green Park & Golf Ventures (ダラス)	医療系スタートアップを支援。分野は医療器具、治療法、診断、歯科、コンシューマーヘルス（消費者向けヘルスケア）、健康IT、医療SaaS (Software as a Service) など。投資額は50万ドルから200万ドル。
RevTech Ventures (ダラス)	小売業向けの技術における、プレシード・シードからシリーズA・Bまでのステージに投資。投資額平均は10万ドル。主にテキサス州所在の企業へ投資。
Tech Wildcatters (ダラス)	アーリーステージのシード、シリーズAステージの企業に投資するほか、プレシードステージ向けに12週間のアクセラレータープログラムを提供している。2009年に設立。
Mercury Fund (ヒューストン)	米国中部を中心に、ソフトウェアのスタートアップ企業に投資。主にシードエクステンション（追加拡張投資）やシリーズAステージでの投資を行う。投資額は最小25万ドルから。
Chevron Technology Ventures (ヒューストン)	米石油大手シェブロンが1999年に設立し、スタートアップ、投資家、インキュベーター、アクセラレーターに投資。自社の事業における運営強化、デジタル化、低炭素化を進める「コア・エナジー・ファンド」は、これまでに100社以上に投資。2024年に新設した、未来のエネルギーシステムの革新を目指す「フューチャー・エナジー・ファンド」は、低炭素技術に対し累計約100億ドルを投資した。
Golden Section (ヒューストン)	業務用SaaSの分野で、プレシードステージからイグジット後まで、起業家を支援する。
Seed Round Capital (ヒューストン)	プレシードとシードステージに投資。投資額5万～15万ドル。資金獲得に向けたプレゼンテーションの準備などの指導や、「ザ・キャノン (The Cannon)」での貸事務所と関連サービスも提供する。

出典：各組織のウェブサイト

スタートアップ

Startups

テキサス州のスタートアップにリソースを提供している主なインキュベーター、アクセラレーターは以下のとおり。

インキュベーター・アクセラレーター	概要
Austin Technology Incubator (オースティン)	テキサス州立大学オースティン校によるディープテック系支援機関。経済循環、エネルギー、食品・農業技術、モビリティ、水源、健康、マイクロエレクトロニクスなどの分野で、一般企業も支援する。原則、試作品開発済の企業対象。1989年設立で、米国内で現存する最古のテック系インキュベーターである。
Jon Brumley Texas Venture Labs (オースティン)	テキサス大学オースティン校のビジネススクール (McCombs School of Business) によるアクセラレーター。テキサス州所在のスタートアップ企業に対し、同校の大学院生による最大200時間のカウンセリングを提供している。
DivInc (オースティン)	オースティンに拠点があるテクノロジー系アクセラレーターで、クリーンエネルギーや女性、スポーツ、社会貢献型のスタートアップに関連したプログラムを提供している。
International Accelerator (オースティン)	外国出身の起業家向けに、6カ月間のプログラムを提供するアクセラレーター。無料の住宅や貸事務所の提供のほか、包括的に移転を支援する。
SKU (オースティン)	消費者向けパッケージ製品業界のスタートアップ企業対象で、アーリーステージを支援。業界の専門家による指導などが受けられる12週間のプログラムを通じてブランド力の強化を目指す。
Sputnik ATX (オースティン)	起業家向けの13週間のプログラムを提供するアクセラレーター。受講はオースティン300マイル内の居住が条件。トレーニング・メンタリングや小規模の貸事務所を提供。3カ月のプログラム修了後にはVCへのピッチを行う。
Tech Ranch (オースティン)	42か国以上に及ぶ、世界中の起業家やテック系スタートアップを支援するアクセラレーター。これまでに起業家6,500人以上、750のソリューションの実用化を支援。デルやアップル、GEなどの大手企業や、米エネルギー省との実績もある。
The DEC network (ダラス)	コワーキングスペース、メンタリング、ネットワークングやイベントなどを提供する、非営利団体。スタートアップ企業の年間売上や営業年数により、アクセラレーター・プログラムがある。2013年設立。
Halliburton Labs (ヒューストン)	資源サービス大手のハリバートン (Halliburton) によるアクセラレーター。エネルギー・気候系スタートアップのレイターステージを支援。12カ月のプログラムや、エネルギー業界やハリバートンの専門家による技術や経営などの指導を提供。
ion (ion district) 、 Greentown Labs (ヒューストン)	ヒューストンのイノベーション中核施設として、市の協力の下、ライス大学がダウンタウン南の12区画を「ion district」として再開発。「ion」は、市民、起業家、学術機関、投資家や企業が集まる、事務所・小売・イベント会場など併設の複合テックハブ施設で、コワーキングスペースや貸事務所、試作ラボがあり、民学のアクセラレーターによるプログラムを提供している。ion districtの一画には北米最大級の気候変動テック・インキュベーターの「グリーンタウン・ラブズ (Greentown Labs)」のヒューストン拠点があり、石油大手シェブロンやシェル、電力大手NRGエナジーなどエネルギー関連大手らが参画。
VelocityTX (旧称 : Texas Research Technology Foundation) (サンアントニオ)	産学軍の混合ハブ施設としてサンアントニオ東区を再開発。バイオ科学研究施設があり、軍事医学研究施設が隣接する。アーリーステージのバイオ科学系企業を支援し、STEMプログラムやインターンも提供。1983年に設立の非営利団体で、当初の名称はテキサス・リサーチ・テクノロジー財団 (Texas Research & Technology Foundation) 。

出典：各組織のウェブサイト

“起業者や企業がテキサスを選ぶのは、比類なきビジネスに優しい政策、低税率、そして高度なスキルを持つ労働力があるからだ。”

2025年3月4日

テキサス州グレッグ・アボット州知事
5年間の経済開発戦略計画に関するプレスリリースより

ライフスタイル

Lifestyle

生活基本データ（調査期間：2019～23年）

生活基本データ	テキサス州	米国全体
世帯所得（中央値、ドル）	76,292	78,538
住宅価格（中央値、ドル）	260,400	303,400
家賃（中央値、ドル）	1,339	1,348
持ち家率（％）	62.6	65.0

データ：米国国勢調査局

人気居住エリア

テキサス州では、ヒューストン、ダラス、サンアントニオ、オースティンなどの大都市圏の人気は高いものの、これらの郊外で生活する人が増えている。米国国勢調査局のデータによると、2020年から2023年の間に、米国で最も急速に成長している10都市のうち9都市がテキサス州だった。最も人気が高かったのは、ダラス大都市圏の北端に位置するテキサス州セリーナ（Celina）。セリーナの人口はこの期間に143%急増し、2020年の17,808人から2023年7月には43,317人に増加した。他にも各都市圏周辺には教育水準が高く、買い物にも便利な人気の新興住宅街が増えている。



オースティン北部郊外、ラウンドロックの住宅街

日本関係コミュニティ

テキサス州には商工会、日米協会、日本人会等の日本関係の団体が多数存在する（例：ヒューストン：ヒューストン日本商工会、ヒューストン日米協会、グレーターヒューストン日本人会。ダラス：ダラス日本人会（商工会機能は日本人会内の商工部会）、ダラスフォートワース日米協会。オースティン：グレーターオースティン日米協会、オースティン・ジャパン・コミュニティ。その他、サンアントニオ日米協会、エルパソ日本人会、マッカーレン日本商工会など。）ヒューストン、ダラス、オースティン、サンアントニオには日本語補習校もあり、進出日系企業駐在員家族を対象に、週末、日本語による授業が行われている。



オースティンの高速道路

交通

テキサス州は日常生活において自動車依存度が非常に高い。米国国勢調査局によると、2023年の16歳以上のテキサス州民の73.2%が一人で車、トラック、バンを運転し、9.81%が相乗り、0.95%が公共交通機関(タクシーを除く)を利用、1.44%が徒歩で通勤した。同期間中、テキサス州の平均通勤時間は26.7分で、全国平均の26.6分とほぼ同じだった。

ライフスタイル

Lifestyle

テキサス州は緑あり、砂漠あり、海あり、川ありと、あらゆる自然の景色を楽しむことができる。東部一帯は針葉樹の深い森林に覆われ、西に向かうにつれ徐々に樹木が低くなっていく。州中央近くの州都オースティンの周辺はテキサス・ヒル・カントリーと呼ばれる低木が茂る石灰岩質の丘陵地帯となり、ワインの産地としても有名だ。さらに西部に向かえば年間降雨量がほとんどない荒涼とした砂漠地帯が広がる。同じ州とは思えないほど多彩な自然、景色に遭遇する。多様な先住民文化、テキサス独立戦争、テキサス共和国、南北戦争、西部開拓時代、政治や軍事などの近現代史まで非常に豊かな歴史に彩られている。洗練された芸術、文化もあふれ、見どころは尽きない。



ビッグ・ベンド国立公園

自然公園

テキサス州西部に位置するビッグ・ベンド国立公園、テキサス州北部アマリロ郊外のパロ・デュロ・キャニオン州立公園、オースティン近くにあるコロラド・ベンド州立公園、エルパソに近いフランクリンマウンテン州立公園など。州中央部は古代の海岸線であったこともあり、恐竜の足跡をみることができる（The Heritage Museum of the Texas Hill Country、Dinosaur Valley State Park）。

博物館／美術館／史跡等

歴史から科学、芸術まで州内各地には一流施設、史跡が多数あり、魅力の宝庫である。ヒューストン：ヒューストン宇宙センター、ヒューストン自然科学博物館、ヒューストン美術館、サンジャシント古戦場跡。ダラス：ダラス美術館、シックスフロア博物館（ケネディ大統領暗殺現場）。オースティン：ブロック・テキサス州歴史博物館、LBJ大統領図書館。フォートワース：キンベル美術館、ストックヤーズ（ロデオ競技会場）。サンアントニオ：世界遺産アラモをはじめとする教会群。コーパスクリスティ：空母レキシントン博物館。アビリーン：西部開拓博物館フロンティア・テキサス！など。



ヒューストン宇宙センター

スポーツチーム

米国4大スポーツが揃い、全米でも有名なチームが多い。ヒューストン・アストロズ（Houston Astros：MLB）、テキサス・レンジャース（Texas Rangers：MLB）、ダラス・カウボーイズ（Dallas Cowboys：NFL）、ヒューストン・テキサンズ（Houston Texans：NFL）、ダラス・マーベリックス（Dallas Mavericks：NBA）、ヒューストン・ロケッツ（Houston Rockets：NBA）、サンアントニオ・スパーズ（San Antonio Spurs：NBA）、ダラス・スターズ（Dallas Stars：NHL）など。

住民気質

一般的に、テキサス州は土地が広大で温暖な気候のため、住んでいる人々も明るくて気さくである。また、資源や土地に恵まれていて、多くの産業が潤っているため、裕福でおおらかな人が多いと言われる。メキシコから独立した1836年から合衆国に併合される1845年までの9年間、テキサス共和国として独立していたこともあり、州民は米国人というよりも、テキサス人（Texan）であることに強い誇りを持っている。テキサス共和国の旗であり、現在の州旗のロースターはテキサスへの強い帰属意識の表れとして州内至るところで掲げられている。

A blue horizontal bar on the left transitions into a stylized geometric logo on the right. The logo consists of three concentric, interlocking diamond shapes. The outermost shape is dark blue, the middle one is a lighter blue, and the innermost one is white, creating a sense of depth and movement.

JETRO

ジェトロ・ヒューストン事務所

1221 McKinney Street, Suite 4141,

Houston, Texas 77010, U.S.A.

E-mail: inqu-hou@jetro.go.jp